

事業所名 グループホーム佐伯
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 介護支援専門員
資格・経験 ヘルパー2級、介護支援専門員、介護福祉士、認知症ケア専門士
B:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>・「安全に安心して仲間と一緒に地域の一人として暮らせるようお手伝いする」という方針のもと、入居者一人ひとりを尊重し、その人らしい暮らしの実現をめざしている。</p> <p>・平行棒を用いたりハビリ訓練や体操、ゲーム機による反射訓練等を組み合わせ、全員が楽しめるレクリエーションや活動で、無理なく自然に身体機能の維持が図れるように取り組んでいる。</p> <p>・入居者の個性や多様性に配慮しつつ、安全の確保を第一に考え、職員の「目くばり・気配り」により、事故の無い生活の場の提供をめざして日々努力している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>・職員は、どんなに忙しくても入居者の前では慌てず、ゆっくり、ゆったりとした態度で接している。業務優先で行動することなく、入居者との関わりを大切にしており、入居者のそばで話をじっくりと聞き、安心して落ち着いた気持ちで過ごしてもらえるように心がけている。</p> <p>・入居者の得意なこと、出来ることを把握し、ちぎり絵・カルタ・トランプ等の趣味を活かす機会も日常生活の中で作り、楽しみながら持てる力を発揮できるように働きかけている。</p> <p>・ホールとキッチンが仕切りのないワンフロアになっており、入居者は他の人の気配を感じながらくつろぐことができ、安心感がある。また、調理の時の香りや音等を感じて過ごすことも五感への良い刺激となり、入居前の生活を回想しながら心地よく過ごせる空間となっている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・ホーム周辺には、緑豊かな自然があり、仁徳天皇が吉備の黒姫と隠れ住んだという黒姫伝説のある「宇佐八幡宮」や阿山県指定文化財の「本久寺」等、数々の史跡もある。また、ホーム向かいには、タンチョウをモチーフとした生涯学習センターがあり、地域の多目的ホールとして入居者も気軽に利用することが出来る。近くにはスーパーマーケット・郵便局・学校などの施設もあり、生活しやすく、自然にも恵まれた環境の中で入居者は暮らしている。
- ・敷地内には、母体法人の医療機関や特別養護老人ホーム、有料老人ホームがあり、日々の健康管理や緊急時の対応等、互いに協力し合いながら24時間体制で入居者の暮らしを支えていることは、入居者・家族にとっても心強い。
- ・「主役は入居者ご本人」を理念とし、入居前と変わらぬ暮らしを継続し、個人を尊重した、その人らしい暮らしの提供に日々取り組んでいる。
- ・経験豊かな職員を配置しており、日々共に暮らす中で入居者の思いを汲み取り、同じ目線になって考え、入居者の心に寄り添ったケアの提供に職員が協働して取り組んでいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・家族への便りの発行や定期的な運営推進会議の開催、災害に備えての地域との協力体制等を整え、より地域に根ざしたホームとして入居者の安全・安心な暮らしを支えていけることを期待する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>・入居者一人ひとりの過去の経験や現在の能力を見極め、入居者のできる事ややりたい事等、できる限り入居者の希望に応え、達成感や自信を持ってもらえるように取り組んでいる。</p> <p>・農業をしていた方には野菜の世話や草引き、裁縫の得意な方にはボタン付けや補修をしてもらう等、入居者が得意とする事や好きな事を持てる力を発揮してもらい、生活に張りや潤いを感じ、生き生きと暮らしてもらえるように働きかけている。</p> <p>・トイレ介助時には外から声をかけ、居室に入る時には了解を得てから入るなど、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう職員の対応を徹底している。</p> <p>・入居者の個人情報に関する書類は、事務室内の鍵のかかるロッカーに保管し、関係者以外が目にする事がないよう留意している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策		○
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>・ヒヤリハットや事故が起こった際には、すぐにホーム内会議で検討し、報告書を作成して全職員で情報を共有している。常に危機感を持ち、誠意を持って対応し、事故の再発防止に向けて真摯に取り組んでいる。</p> <p>・経験豊富な職員が多く、これまでの経験を生かした取り組みにより、入居時、気難しかった入居者も、穏やかな日々を送れるよう変化してきている。また、管理者は、より良いケアサービスを提供し続けていきたいと意欲的に考えており、入居者の思いを汲み取った介護を日々現場で提供できるよう取り組んでいる。</p> <p>・採用後3ヵ月以内の初任者研修や年4回の継続研修等、職員の資質向上に向けて取り組んでいる。希望者は、外部の研修へも随時参加しており、研修内容は回覧して全職員で情報を共有し、介護知識や技術の向上に向けて取り組んでいる。</p>		